

まどのむこう、まみのセカイ

ゲストアーティスト  
はら だ いく  
原田 郁



原田郁《WINDOW-lakeside #001》キャンバス・アクリル絵の具／2025年

開館時間

平日／10:00～17:00 土曜・祝前日／9:30～19:00

日曜・祝日／9:30～18:00 ※最終入館は、閉館時間の30分前まで

入館料：一般500(400)円／大高生・65歳以上400(300)円／中学生以下無料

※( )内は20名以上の団体料金。障害者手帳をお持ちの方(または障害者手帳アプリ「ミライロID」提示)とその介添者(1名)は無料。

2025 11.29 土 → 12.28 日

休館日：月曜日  
(祝日の場合、翌平日が休館)

主催：市原市、市原湖畔美術館[指定管理者：(株)アートフロントギャラリー] 協賛：株式会社中川ケミカル

後援：市原市教育委員会、市原市小学校長会、市原市私立幼稚園協会、株式会社バンブーフォレスト、市原ぞうの国、小湊鉄道株式会社、シティライフ株式会社、高滝湖観光企業組合、千葉日報社、南いちほら応援団新聞伝心柱

# まどのむこうになにがみえる？

2013年の開館以来、毎年、市原市内の幼稚園、保育園、小学校から絵を公募し、開催してきた「市原湖畔美術館子ども絵画展」。第一線のアーティストが審査にあたり、美術館を会場に子どもたちの絵とコラボレーションする、このユニークな展示会は、年々評価を高めています。第13回となる本展では、ゲストアーティストに現代美術家・原田郁さんを迎え、まどのむこうに見える世界をテーマに募集した作品を展示いたします。



原田郁《WINDOW 2024 #001》キャンバス・アクリル絵の具／2024年

おうちや学校の“まど”をのぞいたら、どんな景色が広がっているでしょう？虹色の空、不思議な生き物たち、絵本の中のような町…もしかしたらまだ誰もみたことがない、ひみつの世界かもしれません。展示室には、子どもたちが描いた約300点の作品が立ち並び、ひとりひとりが捉えた「まどのむこうのセカイ」が広がります。自由でのびやかな想像力にあふれた作品の数々をお楽しみください。

## プロフィール 原田 郁



撮影：松野義也

1982年山形県生まれ。2008年末よりコンピュータの中に家や公園のある仮想世界を構築し、その世界の中に立って見える風景を描き続けている。仮想世界と現実世界を往来しながら行う制作は、絵画作品にとどまらず、近年では立体作品へと展開している。これまで多くの個展を開催し、海外アートフェアなどにも多数参加。近年の展示に個展〈KAATアトリウム映像プロジェクト：原田郁〉KAAT神奈川芸術劇場 / 2024、〈瀬戸内国際芸術祭2025〉にも出展。

## 会期中のワークショップ

## みんなのまどで つくるまち

### 内容

「まどから見える景色」を描いてみよう！  
展示会の会期中、描いた絵は“家のまど”になって、吹き抜けの空間にカラフルでにぎやかな街が広がります。

日程 2025年11月29日(土)  
13:00～15:00

対象 小学生まで

定員 20名

参加費 ひとり500円  
入場には、別途観覧料※が必要です。  
※チラシ表面にてご確認ください。



設営イメージ

## イベントお申込み方法

受付申込開始 2025年10月29日(水)10:00～  
美術館ホームページのイベント情報にある受付フォーム、またはお電話(0436-98-1525)にてお申込みください。  
定員に達し次第、応募を締め切ります。

## ACCESS

